

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	湘北短期大学	整理番号	2-2-057
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	短期大学における社会体験教育の多面的展開		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	小松 恵一		
<p>(取組の概要)</p> <p>学生に社会体験を与えることにより、実社会への理解とそれに基づく勉学意欲や社会性の向上を狙う、二つの相補的な教育手法を実践してきた。</p> <p>第一は所謂インターンシップで、平成 5 年以来派遣先の職種や期間など多様な拡充を続け、既に 1000 人以上の学生派遣実績がある。教員のきめ細かい事前・事後指導により大きな教育効果を上げ、また教員は企業との交流を通じて社会ニーズを把握し、教育内容に反映させている。</p> <p>第二は有志学生が擬似会社的なチームを作り、学内外から受注した実際の業務を実行する独自の仕組み“SHOHO”である。企画・開発・製造・納品など一連の擬似企業体験を通じ、自主性やチームワーク力を養い、成果の経済価値やコスト・採算性など、企業人に必要な基礎知識を実践的に学ぶことができる。</p> <p>これらは従来型授業に比べ遥かに高い満足度を学生に与え、勉学意欲や社会性の顕著な向上をもたらすとともに、高就職率の維持に寄与している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、湘北短期大学の「実技を通じて智識のみでなく、世の中を生きていく、人を率いていける人柄を身につける」という教育理念を実現するために、文部科学省が近年提唱する「キャリア教育」について、インターンシップをはじめとする多面的な社会体験的教育の取組をすでに 10 年にわたって全学的に推進しており、1000 名をこす経験者を数えるなど大きな成果があがっています。特に、SHOHO と名付けられた模擬企業の取組は、学外企業からの協力を得ながら学生たちのリーダーシップを涵養していくという優れた特色をもつ試みであり、また短期大学内で業務をもとに模擬企業が組織されている点など、他の短期大学に大いに参考になる事例です。</p>			